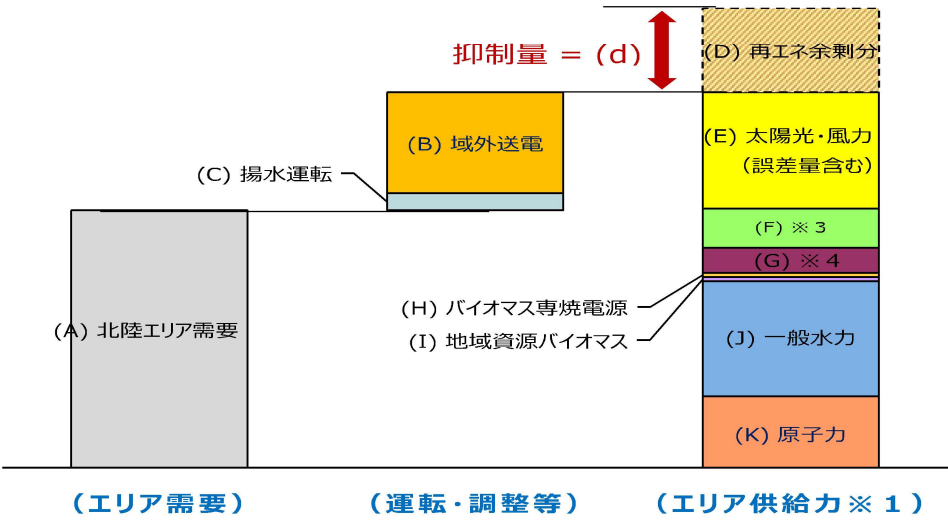


日別の需給状況・再エネ出力抑制の必要性(2025年5月)

場所		北陸エリア		
出力抑制指令計画時の下げ調整力最小時刻		5月3日(土) 10時30分～11時		
		【前日計画】	【当日見直し】	
需給状況 (万kW) イメージ図は 「別紙3」	エリア 供給力	(F) 調整力としてあらかじめ確保する発電設備等 (火力)	27.7	当日見直しが あれば記載
		(G) 調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等 (火力)	0.1	
		(K) 原子力	0.0	
		(J) 一般水力	130.6	
		(H) バイオマス専焼電源	4.5	
		(I) 地域資源バイオマス	3.2	
		(E-1) 太陽光⑥	91.9	
		風力⑪	0.9	
		(E-2) 想定誤差量	13.2	
	エリア供給力 計⑫		272.1	
	エリア 需要等	(A) エリア需要②	205.1	
		揚水運転 (C-1) 揚水式発電機の揚水運転⑬	0.0	
		域外 (B-1) 約定済みの域外送電電力⑭	▲ 62.4	
		送電 (B-2) 長周期広域周波数調整⑮	0.0	
		エリア需要等 計⑯ = ② - (⑬ + ⑭ + ⑮)		
		【前日計画】	【当日見直し】	
必要性 (万kW) イメージ図は 「別紙3」	エリア供給力 計⑫		272.1	/
	エリア需要等 計⑯		267.5	
	(D),(d) 誤差量を織込んだ抑制必要量⑰ = ⑫ - ⑯		4.6	

○需給状況イメージ図

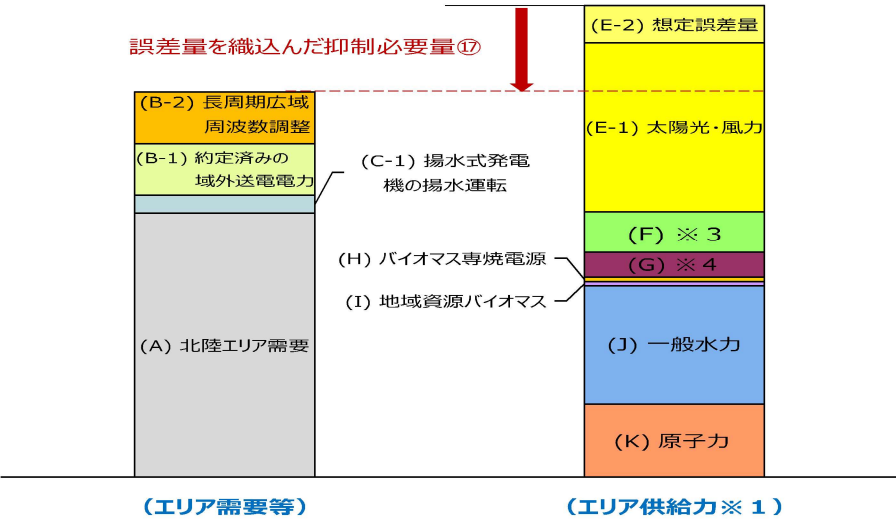
エリア需要等・エリア供給力



- ※ 1 : 優先給電ルールに基づく出力抑制後のエリア供給力。
※ 2 : 北陸関西間連系線および中部北陸間連系設備の運用容量相当。
※ 3 : 調整力としてあらかじめ確保する発電設備等。
※ 4 : 調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等。バイオマス混焼電源を含む。

○必要性のイメージ図

再エネの出力抑制を行う必要性と抑制必要量



日別の優先給電ルールに基づく抑制、調整状況(2025年5月)

(※)差異理由

(a) 連系統運用容量を維持するための電制量確保
(b) 燃料貯蔵の関係から抑制量減少
(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加

(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少
(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加
(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画

(g) オーバーホールで停止中
(h) 翌日発電計画に基づいた発電出力を採用
(i) 他の供給区域の受電可能量不足

(j) 系統作業による停止
(k) 燃料受入に伴うBOG消費のための発電機出力制約
(l) 作業（ばい煙測定等）による抑制量減少

(m) 設備点検で停止
(n) 設備点検に伴う一部停止
(o) 設備不具合による出力制約

(p) 揚水可能量制約
(q) 点灯需要供給力確保

[万kW]		優先給電ルールに基づく抑制、調整（1）		5月3日(土)			
調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（火力） ※ L F C調整力 2％確保の発電所	燃料	発電所	最低出力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)	
	石炭	敦賀	0.0	0.0	0.0		
		七尾大田	20.7	20.7	0.0		
		L N G	0.0	0.0	0.0		
	LNG,石油		7.0	7.0	0.0		
合計		27.7	27.7	0.0			
優先給電ルールに基づく抑制、調整（2）		5月3日(土)					
調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（揚水）	対象設備なし	揚水動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)		
		－	－	－	－		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（3）		5月3日(土)					
需給バランス用蓄電設備の充電	対象設備なし	充電最大動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)		
		－	－	－	－		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（4）		5月3日(土)					
調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（火力） ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率%]	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)		
	火力	0.0	0.0	0.0			
		[0%]					
		(11.1)					
	（ ）内は 全設備運転時	[24%]					
	自家発余剰	4.5	0.1	▲ 4.4	(h)		
合計		4.5	0.1	▲ 4.4	－		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（5）		5月3日(土)					
調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（揚水）	発電所	揚水動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)		
	A	▲ 12.0	0.0	12.0	(p)		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（6）		5月3日(土)					
長周期広域周波数調整（連系統活用） ※ 3 空容量＝（運用容量） －約定済みの域外送電電力 －マージン（ΔkWマージン含む）	連系統	前日15時時点 の空容量① ※ 3 （運用容量）	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)		
	北陸フェンス （越前嶺南線＋南福光BTB）	186.8 (125)	0.0	▲ 186.8	(i)		
	合計	186.8	0.0	▲ 186.8	－		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（7）		5月3日(土)					
バイオマス専焼電源 ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率%]	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)		
	バイオマス専焼	4.5	4.5	0.0			
		[87%]					
		(8.2)					
	（ ）内は 全設備運転時	[93%]					
	自家発余剰	0.0	0.0	0.0			
合計		4.5	4.5	0.0	－		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（8）		5月3日(土)					
地域資源バイオマス ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率%]	前日計画②	差異（②－①）	理由 A～C 毎 （発電所数）		
	出力抑制可	0.5	0.5	0.0			
		[83%]					
	出力抑制不可	－ [100%]	2.7	－	A(13),B(2),C(3)		
合計		0.5	3.2	0.0	－		
想定誤差量		5月3日(土)					
想定誤差量	出力帯		中出力帯 1				
	出力帯 算定	(A)過去 最大出力／設備量	92%				
		(B)当日 最大出力／設備量	72%				
		(C)出力率 (B)／(A)	78%				
	誤差量	太陽光誤差	7.4				
		エリア需要誤差	5.8				
合計			13.2				

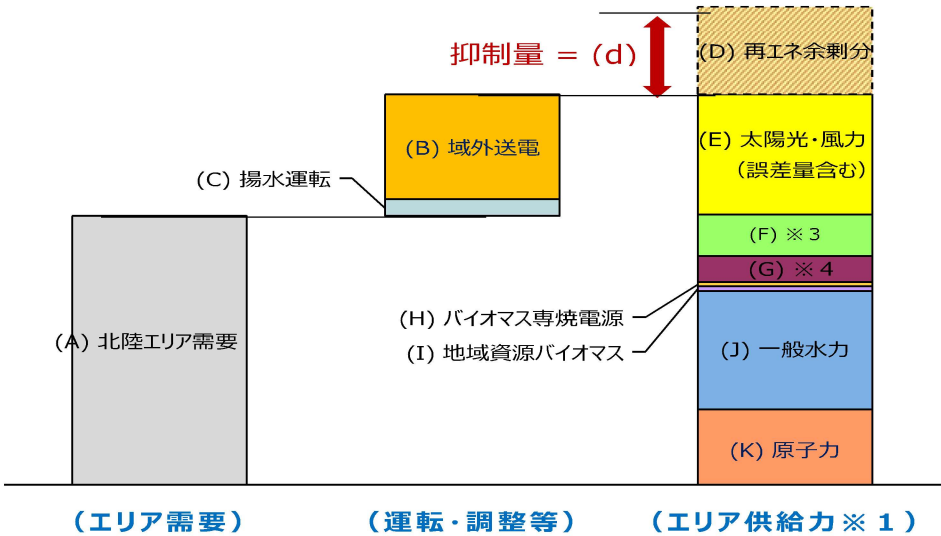
地域資源バイオマスの出力制御不可理由：A（燃料貯蔵が困難）、B（燃料調達体制に支障を来たす）、C（周囲環境に悪影響を及ぼす）

日別の需給状況・再エネ出力抑制の必要性(2025年4月)

場所			北陸エリア		
出力抑制指令計画時の下げ調整力最小時刻			4月26日(土) 12時30分～13時		
			【前日計画】	【当日見直し】	
需給状況 (万kW) イメージ図は 「別紙3」	エリア 供給力	(F) 調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（火力）	28.1	当日見直しが あれば記載	
		(G) 調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（火力）	0.4		
		(K) 原子力	0.0		
		(J) 一般水力	143.7		
		(H) バイオマス専焼電源	7.7		
		(I) 地域資源バイオマス	3.3		
		(E-1)	太陽光⑥		114.1
			風力⑪		4.3
	(E-2)	想定誤差量	14.2		
	エリア供給力 計⑫		315.8		
	エリア 需要等	(A) エリア需要②	241.0		
		揚水運転	(C-1) 揚水式発電機の揚水運転⑬		▲ 12.0
		域外	(B-1) 約定済みの域外送電電力⑭		▲ 53.2
		送電	(B-2) 長周期広域周波数調整⑮		0.0
		エリア需要等 計⑯＝②－（⑬＋⑭＋⑮）			306.2
			【前日計画】	【当日見直し】	
必要性 (万kW) イメージ図は 「別紙3」	エリア供給力 計⑫		315.8		
	エリア需要等 計⑯		306.2		
	(D),(d) 誤差量を織込んだ抑制必要量⑰＝⑫－⑯		9.6		

○需給状況イメージ図

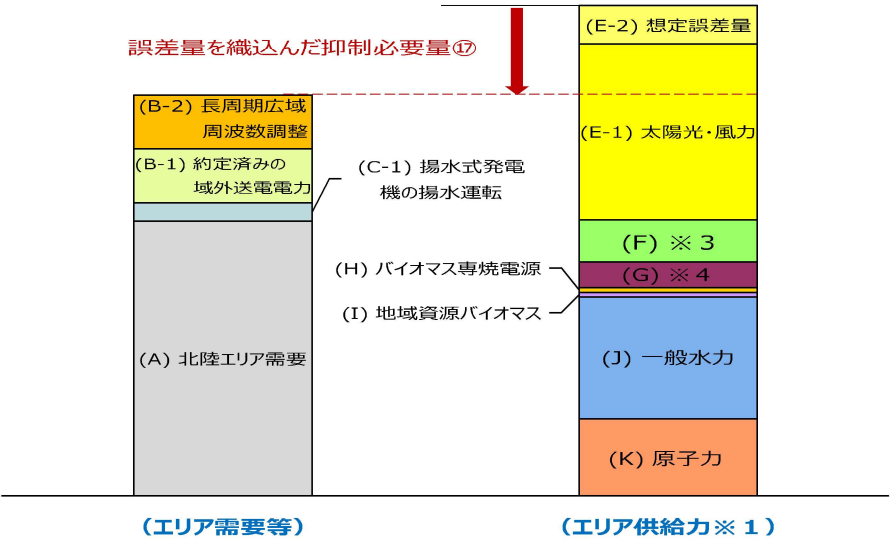
エリア需要等・エリア供給力



- ※ 1 : 優先給電ルールに基づく出力抑制後のエリア供給力。
- ※ 2 : 北陸関西間連系線および中部北陸間連系設備の運用容量相当。
- ※ 3 : 調整力としてあらかじめ確保する発電設備等。
- ※ 4 : 調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等。バイオマス混焼電源を含む。

○必要性のイメージ図

再エネの出力抑制を行う必要性と抑制必要量



日別の優先給電ルールに基づく抑制、調整状況(2025年4月)

		(※)差異理由	(a) 連系線運用容量を維持するための電制量確保 (b) 燃料貯蔵の関係から抑制量減少 (c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加	(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少 (e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加 (f) 自家発電機など工場の生産調整に基づく計画	(g) オーバーホールで停止中 (h) 翌日発電計画に基づいた発電出力を採用 (i) 他の供給区域の受電可能量不足	(j) 系統作業による停止 (k) 燃料受入に伴うBOG消費のための発電機出力制約 (l) 作業（ばい煙測定等）による抑制量減少	(m) 設備点検で停止 (n) 設備点検に伴う一部停止 (o) 設備不具合による出力制約	(p) 揚水可能量制約 (q) 点灯需要供給力確保	
[万kW]									
優先給電ルールに基づく抑制、調整（1）			4月26日(土)						
調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（火力） ※ L F C調整力 2 %確保の発電所	燃料	発電所	最低出力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)			
	石炭	敦賀	0.0	0.0	0.0				
		七尾大田	21.2	21.2	0.0				
	L N G	新港LNG1U	0.0	0.0	0.0				
	LNG,石油	新港2U	7.0	7.0	0.0				
合計			28.1	28.1	0.0	—			
優先給電ルールに基づく抑制、調整（2）			4月26日(土)						
調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（揚水）	対象設備なし		揚水動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)			
			—	—	—	—			
優先給電ルールに基づく抑制、調整（3）			4月26日(土)						
需給バランス用蓄電設備の充電	対象設備なし		充電最大動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)			
			—	—	—	—			
優先給電ルールに基づく抑制、調整（4）			4月26日(土)						
調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（火力） ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率%]	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)				
	火力 （ ）内は 全設備運転時	0.0 [0%] (11.1) [24%]	0.0	0.0					
		自家発余剰	4.5	0.4	▲ 4.1	(h)			
		合計	4.5	0.4	▲ 4.1	—			
	優先給電ルールに基づく抑制、調整（5）			4月26日(土)					
調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（揚水）	発電所	揚水動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)				
	A	▲ 12.0	▲ 12.0	0.0					
優先給電ルールに基づく抑制、調整（6）			4月26日(土)						
長周期広域周波数調整（連系線活用） ※ 3 空容量＝（運用容量） ー 約定済みの域外送電電力 ー マージン（ΔkWマージン含む）	連系線	前日15時時点 の空容量① ※ 3 （運用容量）	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)				
	北陸フェンス (越前嶺南線＋南福光BTB)	188.6 (136)	0.0	▲ 188.6	(i)				
	合計	188.6	0.0	▲ 188.6	—				
優先給電ルールに基づく抑制、調整（7）			4月26日(土)						
バイオマス専焼電源 ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率%]	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)				
	バイオマス専焼 （ ）内は 全設備運転時	8.2 [93%] (8.2) [93%]	7.7	▲ 0.5	(h)				
		自家発余剰	0.0	0.0	0.0				
		合計	8.2	7.7	▲ 0.5	—			
優先給電ルールに基づく抑制、調整（8）			4月26日(土)						
地域資源バイオマス ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率%]	前日計画②	差異（②－①）	理由 A～C 毎 (発電所数)				
	出力抑制可	0.5 [83%]	0.5	0.0					
	出力抑制不可	— [100%]	2.8	—	A(13),B(2),C(3)				
	合計	0.5	3.3	0.0	—				
想定誤差量	想定誤差量		4月26日(土)						
	出力帯		高出力帯						
	出力帯算定	(A)過去 最大出力／設備量	93%						
		(B)当日 最大出力／設備量	91%						
		(C)出力率 (B)／(A)	98%						
	誤差量	太陽光誤差	6.0						
		エリア需要誤差	8.2						
合計		14.2							

地域資源バイオマスの出力制御不可理由：A（燃料貯蔵が困難）、B（燃料調達体制に支障を来たす）、C（周囲環境に悪影響を及ぼす）